

株式会社エフエム茶笛

平成 23 年度第 6 回番組審議会議事録

- 1 . 開催年月日 : 平成 24 年 3 月 15 日 (木) 17 時 00 分 ~ 18 時 00 分

- 2 . 開催場所 : 株式会社エフエム茶笛 2 階 会議室

- 3 . 委員の出席
委員総数 : 7 名
出席委員数 : 6 名
出席委員 : 大山博 (番組審議委員会長) 水村雅啓 細田和男 小林昌幸
宮岡利雄 飯島静江
放送事業者側出席者 : 代表取締役社長 荻野 喜美雄
専務取締役 東 たか子
営業課長 宮岡 洋明

- 4 . 議 題 : 番組内容について

- 5 . 議事概要 : 2 月より放送を開始した新番組「愛・家族・人生・夢 ハートフルメッセージ」について、各委員に 2 月 19 日 ~ 3 月 11 日の期間中の同番組を聴取していただき、番組の感想やご意見をいただきながら、番組内容を精査。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

6 . 審議内容

委員 長：今回の番組審議会では、2月より放送開始となりました新番組「愛・家族・人生・夢 ハートフルメッセージ」について、各委員の皆様にご聴取いただいた感想・ご意見をいただきながら、放送内容について精査してまいります。当番組の制作は制作会社のオフィスボイジャー、毎週日曜日の午前7時から7時30分までの録音番組で、スポンサーは創芸社という出版社による1社提供です。創芸社は、世界基督教統一神霊協会の創始者である文鮮明氏に関連した書籍を刊行しており、番組内に顕れる宗教色の有無について、この度、当審議会による番組内容の審議対象とさせていただきます。これより各委員からご意見をいただきます。

委員：2月19日放送分の番組を聴かせていただきました。番組内で採り上げていた介助犬の内容が非常に良かったと思います。お話しは心温まるもので、間に挟まれる音楽も楽しめるものでした。ただ、過去の放送内容であるアーカイブをインターネットを通じて聴くことができるということでしたが、日曜日の朝というと、高齢者のリスナーが多くいると思われ、そうしたリスナーの方々がインターネットでアーカイブを聴くというのは難しいかもしれません。

委員 長：私も同日の放送を聴きました。私は、一般的な仏教を信じ、菩提寺で合掌し、また地元の鎮守様に頭を下げ、常に感謝の意をお伝えしています。宗教の信仰は自由ですが、強要があってはなりません。病に悩むことに、人生に悩むことに対し、これを飲め、あれをやれという強制的なものであっては、電波から直接に流れる放送では好ましくありません。しかし、拝聴する限りでは、宗教的な色濃いメッセージではなく、嫌味も感じられません。人間の生き方、社会のあり方など、今一番必要なメッセージだと考えます。さらに、選曲にも問題なく、気持ちの落ち着く曲が流れていました。語り手の片山たづさんの口調、発音、イントネーションが良くて、むしろ他の番組より心地よく聴けたと感じています。

委員：2月19日の放送を聴きました。特に過激な発言や勧誘は見られませんでした。創始者である文鮮明氏の言葉が引用される部分がありましたが、一般的な幸せの意味、人間の生き方のようなもので、特に気になりませんでした。また、他の人の言葉も引用されているので、あまり気になりませんでした。しかし、番組全体のトーンは、パーソナリティの語り口や選曲から、やや宗教的なものも感じられますが、「特定された宗教」という強い印象は与えていないと思います。

委員：日常生活の中で、気に掛けてはいても、目を背けたり忘れかけている問題を探り上げており、興味深く聴くことができました。「なるほど、その通り」「私も、もっと社会に愛をもって接しなければ...」「世の中には、なんて素晴らしい人がいるのでしょうか」などと思ってしまいました。深夜、パソコンで聴いていたことや語り手の話術・バックミュージックの影響もあったのでしょうか。また、震災を経験し、社会的な不安も感じている現在、感情移入が多少生じていたとも思えます。

そして、最後に、権威者である文鮮明氏の言葉を聴いた瞬間、感動的な話は何だったのかと夢から醒めた気分になりました。電波を通して、統一教会の普及活動を聴かされてしまったと感じました。聴き手の置かれている状況によって、様々な反応があるかと思いますが、ある特定の宗教を持ちたくない私にとっては、聴きたくない番組です。

委員長：2月26日放送の内容ですが、日米の国際交流の一環で、ボランティアのアメリカ在住日本人である2人の女性が、東日本大震災による石巻のガレキ処理支援活動や被災者にエールを送るという内容でした。アメリカでも、励ましの折り鶴の話、原爆の子「サダコ」さんにも触れていました。コマーシャル的な見地から見てあっさりしていて、これでいいのか、あえて強調しないのか、スマートさがあり、最後に少しのPRで終わらせていました。

マインドコントロール的な内容は見当たらず、朝の番組のすがすがしさがあります。唱歌「ふるさと」やトークの声質、口調、アクセント、にじみ出る雰囲気は聴き易く感じました。

委員：平日の時間に追われた慌ただしい日々と異なり、ゆったりとした時間を過ごせる休日に、リラックスできる曲を選曲し、しかも話のテーマを盛りだくさんではなく絞ることで、ゆったりとした時間を過ごしてもらおうという番組の趣旨が感じられ、通常耳慣れした番組編成と異なる構成を取っているのが、当初は少し違和感を感じていたところ、すぐに耳に慣れ、ゆったりとした時を共有できました。実験的な番組かもしれませんが、成功していると思います。選曲も素晴らしいです。話の内容もテーマを絞りつつ、さりげなく深く切り込んだ中身の濃い番組となっているように感じられました。

委員：3月に放送された2週分(3/4と3/11)の放送を聴きました。

番組としては、中身がしっかりしていて良いと感じました。今の時代に受け入れられると思える内容であると思います。全体的に、アナウンス・音楽ともによく仕上がっている印象を受けました。

ただ、文鮮明の名前等、宗教色が出てくる部分は、公共放送として少しいかなものかと思いました。

委員：私も、当初、「統一教会」という言葉が出てきたところで少し違和感があったところ、もしかしたらスポンサーは統一教会ではと思った瞬間、番組の流れを途切れさせない形で番組提供アナウンスを入れて番組を進行させていることに気づき、ゆったりとした番組進行と異なり、すべての面で実験的で革新的な番組なのではないかと思うようになりました。

委員長：様々なご意見をいただきありがとうございました。

まとめますと、ご出席いただきました審議委員 6 名の中でも、印象が異なっています。

特定の宗教色については、感じられないというご意見が半数以上です。しかし、「統一教会」「文鮮明氏」という単語や名前が挙がると、特定の宗教を持ちたくないのでは聴きたくない、公共放送としていかがなものかという委員のご意見がありました。

一方で、出席委員に共通する番組の感想は、人間社会の普遍的なテーマを採り上げた落ち着いた内容で、トーク・選曲も水準以上の番組であるという点です。リスナーにおいても、様々なご意見、ご感想があるかと思えます。

放送の継続は事業者側の判断となりますが、今後、放送の継続を検討する場合、今回の番組審議会の議事内容を判断材料の一つにさせていただきたいと思えます。

委員長：出席委員の皆様ありがとうございました。これにて議事を終了させていただきます。

(以上で議事終了)

7 . 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
特になし	特になし	

8 . 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

・3月19日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。

9 . その他の参考事項

特にありません。

以上

社 名	株式会社エフエム茶笛
-----	------------